

図書館だより 第17号



<調べ学習のコーナー>



<展示コーナー>



<えほんコーナー>

平成 17 年 4 月 1 日に岩瀬分館がリニューアルオープンしました。
小学校に併設しているため、休み時間などは生徒たちでにぎわっています。
春の陽気な日差しの中、ちょっと岩瀬まで足を運んでみてはいかがでしょうか。

目 次

合併に伴う富山市立図書館 Q & A	2
お知らせ「図書館のHPが新しくなりました！」	2
自動車文庫 新市全域にサービスを拡大	3
地域館紹介 vol. 1 大沢野図書館	4
山田孝雄文庫の資料 17「玉函叢説」	5
いちおしライブラリー 第5回「図書館へ行こう！」	6
レファレンスあれこれ	8

合併に伴う 富山市立図書館 Q & A

大沢野・大山・婦中・八尾・山田・細入の図書館は地域館となりました。
これらの館を利用するにあたっての、よくある疑問にお答えします。

Q . 地域館で本を借りたいのですが、図書利用カードはどうなりますか？

A . コンピュータシステムの統合を行うまでの間、図書館をご利用の際は、それぞれの館で図書利用カードを作ってくださいが必要です。

なお、八尾図書館ほんの森、八尾東町分館、八尾福島分館の3館は同一のカードでご利用いただけます。

Q . 地域館で借りた本を他の館で返却することができますか？

A . 週に2回、連絡配本車を運行していますので、本と雑誌はどちらの窓口でも返却できます。

ただし、運行スケジュールの都合により、実際に返却処理が行われるまで、多少時間がかかります。

なお、原則としてCDやビデオなどの視聴覚資料は、お借りになった窓口へ返却してください。

Q . 図書館の休館日はどうなりますか？

A . それぞれの館の休館日や開館時間は、基本的に従来どおりです。館によっては、新たに毎月第一木曜日を館内整理日と定め、休館するようになりましたので、各窓口で配布している図書館カレンダーや図書館のHP等でご確認ください。

Q . 地域館にはどのような本がありますか？

A . 各地域館の蔵書は、富山市立図書館のHPの「蔵書検索」のページから検索することができます。

図書館の利用者用インターネット端末をご利用いただくか、各図書館で直接お尋ねください。

図書館のHPが新しくなりました!

<http://www.library.toyama.toyama.jp/>

各コンテンツが見やすく、わかりやすくなりました。

地域館の案内を追加しました。

地域館の蔵書検索ができます。

新たに項目と内容を追加しました。

富山大空襲関係目録、よくあるご質問、資料(大活字本リスト、読書会テキスト目録) ヘルプ

…など、いろいろリニューアルしていますので、一度ご覧になってみてください。



一体化を
目指して!

自動車文庫 新市全域にサービスを拡大

自動車文庫は、マイクロバスに約 1,500 冊の本を積載し、図書館から離れた地域の皆様に、月に 1 回、曜日と時間を決めて巡回し、本の貸出しを行っています。昭和 45 年に始まったこのサービスは、地域ごとに巡回し、貸出を行う一般貸出、小学校を訪れ直接児童に貸出を行う学校貸出、高齢者などを対象にした施設・病院への貸出を行っています。平成 16 年度は 154 カ所を巡回し、延べ 13 万冊の本を貸出しました。今年度は、合併町村に 18 カ所の駐車地を設け、新市全域にサービスエリアを拡大しました。新規駐車地では地域の小学校・幼稚園・保育所を拠点に、近隣住民の方々にも利用してもらえるように滞在時間を長くしました。また、大山、婦中、八尾の 7 カ所の保育所では司書が読み聞かせを行い、子どもが本に親しみ、楽しさを実感できる機会をつくっています。新規駐車地は表 1 の通りです。

新市誕生の 4 月 1 日(金)には、早速、新規駐車地である音川保育所、山田小学校前へ音楽を鳴らして巡回しました。

音川保育所では近隣のかたが親子連れで訪れ、楽しそうに絵本や実用書などを選んでいました。園児らは春の日ざしのもと、自由に本を手にとり、「借ります」といって自分で選んだ本の貸出手続きをしました。



また、山田小学校前では、到着すると同時にたくさん子どもたちが出迎えてくれました。大活字本(大きな字の本)を見た高齢者のかたからは「これ、読みやすいね」という声も聞かれました。



新市全域サービスはスタートしたばかりですが、これからも自動車文庫の窓口を通して、日頃図書館を利用できない市民の方々へ、図書館サービスを提供していきたいと思えます。(館外奉仕係 森田)

表 1

地域名	駐 車 地 名	巡 回 日
大沢野	大久保保育所	第 4 火曜日 10:30~11:00
	大久保幼稚園	第 4 火曜日 9:30~10:30
	老人保健施設 かがやき	第 4 金曜日 14:00~15:00
大山	大庄小学校・幼稚園・保育所	第 3 火曜日 10:00~14:45
	小見小学校・幼稚園*	第 3 金曜日 13:30~15:00
	福沢小学校・幼稚園・保育所	第 3 金曜日 9:45~11:30
	おおやま病院	第 1 水曜日 13:50~14:50
八尾	檜尾小学校	第 3 木曜日 10:15~11:00
	黒瀬谷保育所*	第 3 木曜日 13:15~15:00
	野積保育所*	第 4 月曜日 13:30~15:00
	室牧保育所*	第 4 月曜日 10:30~11:30
	八尾園	第 4 水曜日 13:20~15:00
婦中	音川保育所*	第 1 金曜日 10:15~11:20
	神保保育所	第 4 水曜日 10:15~11:30
	古里保育所	第 2 水曜日 13:40~15:15
山田	山田小学校前*	第 1 金曜日 13:15~14:15
細入	細入南部公民館前*	第 1 火曜日 10:15~11:30
	神通碧小学校前*	第 1 火曜日 13:15~15:00

* は地域住民への一般貸出を行います

地域館紹介 vol.1 富山市立大沢野図書館



春、さわやかな季節。進学や就職と、何かしら新鮮で、うきうきした気分になる季節です。

今年4月1日、私たちに、とても大きな変化がありました。

富山市、上新川郡及び婦負郡の1市4町2村が合併し、新「富山市」が誕生しました。

私個人のことを言わせていただければ、「郡部のひと」(最近はあまり使わないのかな)から「市内のひと」になりました。

「大沢野町立図書館」も「富山市立大沢野図書館」と名称が変わり、富山市立図書館の地域館として、より身近で、より利便性の高い図書館を目指さなければならぬと、大沢野図書館員一同、気を引き締めている毎日です。

コンピュータの図書館システムが完全に統合されるまでは、利用者の方に、いつでも、どの館でも同じように図書館サービスを提供できるわけではありませんが、貸出冊数の限度や貸出期限など統一化しやすいところは、本館、地域館及び分館において、統一化を図りました。

また、コンピュータ・システムの統合というテクニカルな面だけではなく、制度の見直しや職員の研修などを通じて、ルールの共通認識と理解、チームワークの絆を強くしていかなければならぬと考えております。

(大沢野生涯学習センター 村上)

大沢野図書館の概要

位置 〒939-2254

富山県富山市高内 365 番地

電話 (076)468-0950

F A X (076)468-2206

開館時間 平日 9:30～18:00

土・日 9:30～17:00

休館日 月曜日(第3日曜日の翌日を除く)

第3日曜日 祝祭日

年末年始(12/29～1/4)

館内整理日・蔵書点検期間

交通機関

- ・ 地鉄バス J R 富山駅発 R 41 経由 大沢野小学校前下車 徒歩 3 分
- ・ J R 笹津駅下車 自動車 10 分
- ・ 北陸自動車道富山県 I C 20 分
- ・ 富山空港 自動車 15 分

特徴

- ・ 全国の電話帳を所蔵
- ・ 農業実務書を集めた内野文庫を収蔵

沿革

- ・ 昭和 2 年 4 月 旧大沢野村立図書館設立 蔵書 500～600 冊
- ・ 昭和 14 年 4 月 町制施行により町立図書館となる。
- ・ 昭和 24 年 5 月 県立図書館分館に指定
- ・ 昭和 26 年 10 月 元役場庁舎に移転
- ・ 昭和 29 年 12 月 昭和の合併
- ・ 昭和 49 年 2 月 前役場庁舎に移転
- ・ 平成 2 年 7 月 現在地(生涯学習センター 1 階)に移転
面積 1,042 m² 蔵書約 8 万冊
- ・ 平成 17 年 4 月 平成の合併により現在に至る。

暮らしの中に図書館を

富山市立大沢野図書館は、「知る」「学ぶ」「潤う」
場になるよう努めています。

山田孝雄文庫の資料 17 玉函叢説(ぎょっかんそうせつ)写本

ぎょっかんそうせつ
玉函叢説 存巻1-巻7、附録2巻。たやすむねたけ
田安宗武著。平田與曾布憲勝 文化5〔1808〕年 写。
6冊。たて28.0cm×よこ20.2cm。毎半葉7行 毎行23字内外 頭註付き。巻8を欠く。安永6
〔1777〕年丁酉2月22日序。「古本をあさりけるとき見出しければ
あがなひ帰りけり 明治四十五年五月日」という入手経緯を記す紙片
1葉付き。附録巻2最終丁ウラに「于時文化五戊辰三月十七日 臣平
田與曾布憲勝」とあり。印記:「福井氏蔵書印」「陽春廬記」。



ぎょっかんそうせつ
『玉函叢説』は有職
たやすむねたけ
故実を主とした田安宗武
の随筆。本編8巻、附録2
巻からなるもの。巻1~巻3
は服飾、巻4は語学関係、
巻5は食物関係、巻6は衝
重(ついがさね)・三方・銚子などの故実、巻
7~巻8は和歌に関する随筆。



田安宗武は八代将軍徳川吉宗の次男で、幼少の頃から文武の才能を認められた。江戸城内に住み、^{かだありまる}荷田在満や賀茂真淵などと密接に交際し、自らも有職故実研究、国学研究、和歌創作・歌論などに優れた業績を残した。

歌論には『国歌八論余言』『臆説剩言』『歌論』『歌体約言』などがあり、荷田在満の『国歌八論』が芸術至上主義的で思想性を否定するのに対し、人生主義的な立場から反論した。賀茂真淵が感性尊重と声調重視の立場から、在満と宗武の論争に参加したが、宗武は感性・声調を尊重する論も吸収していった。この三人の論争は「国歌八論論争」と呼ばれている。

ぎょっかんそうせつ
『玉函叢説』は、宗武がかなり長期に渡って、折に触れ口述したことを侍臣に筆録させておいたものを、宗武没後、嗣子田安^{たやす}治^{はるあきら}の命を受けて家臣が編集したものである。今日に伝わるのは写本のみであるが、『国書総目録』によれば、国会図書館、内閣文庫、静嘉堂文庫、宮内庁書陵部、関大、京

大、筑波大、東大史料編纂所、龍谷大、京都府立図書館、岩瀬文庫、金沢市立図書館、刈谷市立図書館、神宮文庫、尊経閣文庫、穂久邇文庫、無窮会神習文庫、龍門文庫、福井久蔵(宝暦10年〔1760年〕写6冊)などが所蔵している。

山田孝雄文庫所蔵のものには「福井氏蔵書印」という蔵書印があり、『国書総目録』(昭和32年に編纂を開始し、昭和38年に完成)に掲載の福井久蔵(国語国文学者、特



に連歌関係の著作が多い。蔵書家としても著名。昭和26年没。)の持物であったかもしれない。山田孝雄博士所蔵本には文化5年(1808)の年記があり、巻1の初めには安永6年(1777)の序がある。附録巻1の末尾には「是は宝暦十年辰八月十八日奥田美濃守うかがひ奉しに 諸成に令してこたへさせられし所の御草稿なり」とあるが、これは附録巻1部分の成立に関する記述であろう。もう一つの蔵書印は「陽春廬記」で、陽春廬は^{こなかむら}小中村^{きよのり}清矩(幕末・明治期の国学者、蔵書家としても著名。明治28年没。)の号である。

「古本をあさりけるとき見出しければあがなひ帰りけり 明治四十五年五月日」と書いたのは、誰であろうか。

(本館 亀澤)

いちおしライブラリー 第5回 ~図書館へ行こう!~



図書館は現在...

『未来をつくる図書館』(岩波新書)

菅谷明子 / 著 岩波書店 2003

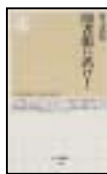
「これが、図書館？」と驚くほど多彩な活動をするニューヨーク公共図書館。「図書館なしでは今の自分はなかった」と語る市民も多い。地域密着の運営、独自のイベント、ITを活用した情報提供など、まさに「市民と地域の活力源」となっている。

図書館大発見!

『図書館に訊け!』(ちくま新書)

井上真琴 / 著 筑摩書房 2004

あなたは、どのように図書館を使っているだろうか?これは、大学図書館に勤務する著者が、利用者の視点から書いた「図書館利用テクニック」紹介本である。上達のキーワードは「訊く」こと。資料に「訊く」、図書館員に「訊く」、図書館のネットワークを通じて「訊く」。そして、著者は利用者から訊かれることがなければ、図書館の進化はないと述べている。みなさんも、ぜひ富山市立図書館に訊いてほしい。



「どれだけの本があり、どれだけの物語があり、どれだけの言葉が溢れているのか。ページ数や活字の数まで勘定すれば、天文学的な数字が弾き出せることだろう。そう考えると愉快だった。あらためて自分を取り巻く世界の広さを知った気がした」

(『図書館の水脈』より)



こんな図書館 あんな図書館

『おもしろ図書館であそぶ』

毎日ムック・アミューズ / 編

毎日新聞社 2003

1万3000冊のミステリーが閲覧できる「ミステリー文学資料館」、宝塚歌劇の脚本やパンフレットが揃った「阪急学園 池田文庫」、上方文化を体感できる「大阪府立上方演劇資料館 ワッハ上方」など、特定分野の資料を収集している全国の専門図書館142館を紹介。こんなマニアックな図書館があったのか!とパラパラ見るだけでも楽しい。

「文学を通せば、何年も前に生きてた人と同じものを見れるんだ。見ず知らずの女の人に恋することだってできる。自分の中のものを切り出してくれることだってできる。とにかくそこにいながらにして、たいいていのができてしまう。のび太はタイムマシーンに乗って時代を超えて、どこでもドアで世界を回る。マゼランは船で、ライト兄弟は飛行機で新しい世界に飛んでいく。僕は本を開いてそれをする」(『図書館の神様』より)

『映画の中の本屋と図書館』

飯島朋子 / 著 日本図書刊行会

2004

『ハムナプトラ』に登場するエジプトの古代博物館の図書室、『ノッティングヒルの恋人』のロンドンの本屋、ハリーが透明マントをかぶって深夜に侵入した『ハリー・ポッターと賢者の石』の図書室...

映画を観ていて、本や図書館が登場するとわくわくするという著者が、「登場人物が本屋や図書館を利用する」「書店員や図書館員が登場する」「本屋や図書館に関係するせりふがある」映画について解説する。図書館も本も映画も大好きな人におすすめの1冊。



本についてのあれこれ

『カバー、おかけしますか?』

出版ニュース社 2004



本屋で本を買うと、紙を折ってカバーをかけてくれる。それは、日本にだけある習慣らしい。その書店カバーを「書皮」と呼び、「本が好き、本屋が好き、本屋のカバーが好き」という書皮友好協会が集めた、全国の古書店や書店のブックカバーを紹介したのが本書である。人気投票で大賞をとった書皮、地方書店の書皮、動物や船、地図など美しいデザインの書皮が満載で、よくもまあこんなに集めたものだと感嘆する。



ときとして不思議なことも...

『まだ名前のない小さな本』

ホセ・アントニオ・ミリャン / 著 2005

主人公は「むかしむかし」と「おしまい」

の2行しか書かれていない「ちっちゃなお話」の本。ママはキャリアウーマンの科学雑誌で、パパは分厚い民法書。2人は、なかなか大きくなれない息子を心配している。ある日、「ちっちゃなお話」は、成長する方法を探すために、百科事典や作者に会いにでかける。

「本は、過去の人たちを生き返らせて、いま生きている人たちを永遠に生かす、小さな記号で満たされた魔法の世界なんだ。...この地上に人類がいるかぎりけって終わることなく、ますます大きく広がっていく世界のなかへ、ぼくたちを連れていく。それはまるで夢のようでもあるし、ファンタジーのようでも、魔法のようでもある」

(『ビビ・ボッケンのふしぎ図書館』より)

本が人生をかえる? 本を通じて出会った人

『図書館の神様』 瀬尾まいこ / 著

マガジンハウス 2003

過去のトラウマや不倫の恋に悩み



ながら、地方の高校で講師として働く^{きよ}清。バレボール一筋の少女時代をすごし、文学には全く興味がなかった清だが、思いがけず文芸部の顧問となった。彼女は、ただ一人の部員垣内君と、海の見える図書室で一年を過ごし、少しずつ心を癒されていく。



『図書館の水脈』 竹内真 / 著

メディアファクトリー 2004

本好きで、小説の世界への旅に憧れる若いカップルのナズナとワタル。学生時代に図書館で寝泊りしたことがきっかけで、作家になった甲町岳人。3人は、村上春樹の著書『海辺のカフカ』に導かれるようにして出会う。



『古本屋の女房』

田中栞 / 著 平凡社 2004

著者は、本好き古本好きなのがこうじて、古本屋好きとなり、古本屋の女房となった。結婚しても、子どもが生まれても、考えることといたら本のことばかり。子連れで、全国各地へ古本屋めぐりする日々を送る。でも、売り上げ不振のゴタゴタから離婚を考えることも...。古本屋や古本業界、そして家庭の裏事情を語った痛快なエッセイ。



図書館を舞台としたミステリー

『第三閲覧室』

紀田順一郎 / 著 新潮社 1999

学長人事が激化する誠和学園大学総合図書館。稀覯本1万冊が眠る書庫で、女性の死体が発見された。図書館運営主任が疑われるなか、彼の無実を確信する古書店主が事件を調査し始める。

ストーリーもさることながら、登場人物が語る、戦前と戦後の紙の見分け方、印刷や活字についてのうんちくなど、本にまつわる話楽しい。

(児童奉仕係 牧田)



レファレンスあれこれ



今回は、よく受ける「花」についての質問を3件ご紹介します。

Q.ポプラの木は、どんな花をつけるのか？

[図書館脇にあるポプラの木は、初夏の頃、白い綿毛のような実を大量に飛散させます。閲覧室にも舞い込んできて、時ならぬ吹雪のようになり驚かされます。さて実が成るからには花も咲くはず。その花の姿は如何に？]



A.ポプラという名前で、植物図鑑を引いてもなかなか見つかりません。慣用的な呼び名で正式名称ではないのでしょうか。そこで便利なのが『植物レファレンス事典』（日外アソシエーツ 2004年）。植物の持つ複数の呼び名や分類の異説などが示され、それぞれの事典に収録されているか検索できます。これによると、ポプラは〔ヤナギ科の落葉高木。別名ピラミッドヤマナラシ、イタリアヤマナラシ。または、ヤマナラシ属総称。別名ハコヤナギ、ヤマナラシ。〕ということ。紹介されている収録図鑑は11点。

その中から、『原色牧野植物大図鑑 離弁花・単子葉植物編』（北隆館 1997年）と、『原色樹木大図鑑』（北隆館 1987年）を選んでページを繰ると、前者には【セイヨウハコヤナギ（ポプラ）】の見出しで果実の図版が、後者には【イタリアヤマナラシ（セイヨウハコヤナギ）】の見出しで花の図版が載っていました。

〔雌雄異株。春に葉に先がけて尾状花序を垂らす。〕と説明がありますが、よほど目立たない花なのでしょう。インターネット上で

も、綿毛のような実を紹介するページは多いのですが、花の写真は見あたりませんでした。

Q.曼荼羅花（まんだらげ）の花の形は？

[有吉佐和子の小説「華岡青洲の妻」は、これまで何度も芝居や映画、テレビドラマになり人気を呼びました。青洲が麻酔薬の原料として使った曼荼羅花とは、どんな植物なのだろう？ というわけです。]

A.『原色牧野和漢薬草大図鑑 新訂』（北隆館 2002年）によれば、マンダラゲはチョウセンアサガオ、別名キチガイナスビとも呼ばれる毒草で、熱帯アジア原産、江戸時代に日本に渡来したことがわかります。夏に荒地などでまれに見かけることがあります。〔干した葉を曼荼羅葉といい喘息の薬にするが、猛毒〕ということ。こちらは、インターネット上でも、多くの写真が紹介されています。

Q.エーデルワイスの花の図を見たい。

[ミュージカル・サウンドオブミュージックで、美しく歌い上げられるエーデルワイスの花。どんな姿をしているのでしょうか？]



A.『植物レファレンス事典』を見ると、エーデルワイスは、キク科の多年草で別名セイヨウユスユキソウ。『原色高山植物大図鑑』（北隆館 1987年）にレオンポディウム アルピナムという名前で収録されていることがわかります。図版とアルプスを背景にした写真が見つかりました。英名Edel Weiss。意味は「高貴な白」だとか。『大辞泉』によれば、エーデルワイスは俳句の夏の季語にもなっていて、日本での人気の高さが伺えます。

（東部分館 山崎）